令和3年度第3回交通局モニター会議会議録(概要) (No. 1)

17年6年及第6四天起席(2一) 五城 五城縣 (城女) (10.1)			
日時	令和 4 年 7 月 27 日 (火) 14:00~15:00 場所 交通局第 2 会議室		
出席者 (16 人)	・モニター 計 5 人・当局 計 11 人 局長、次長、各課長、担当		
会次第	1 今期モニターの活動状況等 (1) 総括 ① 3年度モニター通信総括表(令和3年8月1日~令和4年7月20日) ② 3年度モニター通信、会議で出された意見、提言への対応状況 (2) 第2回会議後の通信 ① 第2回モニター会議後の通信総括表 ② モニター通信への対応状況(主なもの) 2 その他 主なトピック 3 局長挨拶		

○会議内容、主な意見等

発言者等	協議事項・質疑等・回答等	
モニター	6月11日(土)に水族館口で市電を待っていたが、事故により市電が来なかったため、タクシーを利用した。後日、新聞で「運転手がぼーっとしていて、市電同士で衝突した」という記事を見た。郡元で起きた事故が水族館電停などの多くの利用者に迷惑をかけ、してはならないことだと感じた。重々気を付けてもらわないと困る。	
交通局長	郡元での市電の追突事故について、事故の原因は「運転手がぼーっとしていた」という人為的なミスであり、誠にあってはならない事故であった。 当該運転手を厳しく指導し、40日程乗務を外し、改めて研修を行った。また、 当該運転手のみではなく、バスの運転手も含めた全ての乗務員に、お客様をお預 かりして目的地まで安全にお届けするという当然の職務について改めて徹底した ところである。今後ともこのようなことがないように、真剣に乗務を行うよう徹 底していく。改めてお詫び申し上げる。	
モニター	車で市電の軌道敷に入った際に、市電の運転手からクラクションを鳴らされ、焦ってしまう。それが事故につながるのではと思う。譲り合いの心を持ってほしい。	
電車事業課	警笛について不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ない。電車は急には止まれないことから、注意喚起として電車が来るという合図程度の警笛を鳴らすよう指導している。警笛の鳴らし方には特に注意をして、必要以上の警笛を鳴らさないよう指導していく。	
モニター	鹿児島交通や南国交通など、大体同じ時間帯にくることが多いため、バス会社同士での話し合いはできないのか。	
バス事業課	自由競争の中であるため、お互いで時間を調整することはしていない。それぞれ の会社で判断をして時間帯を決めているところである。	

令和3年度第3回交通局モニター会議会議録(概要) (No. 2)

発言者等	協議事項・質疑等・回答等
モニター	なぜ市電・市バスではラピカといわさきカード以外のSuica等のカードが使えないのか。他のカードを取り入れる予定はないのか。
交通局次長	Suica等の導入は、これまでも検討はしてきたが、多額の費用がかかること等から導入に至っていない。ただ、これからはクレジットカードでのタッチ決済ができるようになっていくため、そのカードでも支払いができるように、導入実験を行う予定である。海外ではタッチ決済のほうが主流であることや、導入経費等が安いことから、そちらのほうが有効であると判断したところである。また、ラピカと併用をして、クレジットカードでも払えるようになれば利用者の利便性も上がると考える。
交通局長	ラピカについてであるが、敬老パスや友愛パスなど鹿児島市独自のサービスを行えていることや積み増しをすると 1 割プレミアムがつき、乗った実績に応じて 1 パーセントのポイントがつくこと等から、地元の皆さまにとっては、ラピカをなくしてまでSuica等の導入をするという話にはならない。どちらもいれるとなるとまた多額の費用がかかるところである。
モニター	バス停の時刻表で7つほどの系統が一緒に書かれている場合に、バスが遅れているときはどのバスがどのくらい遅れているのかが分からない。
バス事業課	バスロケーションシステムを導入しており、バスがどこにいるか地図上で表示されるようになっている。「楽PINA」というアプリやそれぞれのバス停にあるQRコードを読み込んでいただければ、表示されるのでご活用いただきたい。
モニター	伊敷から鹿児島中央駅を経由して天文館に行くバスで、鹿児島中央駅で時間調整 があり、時間がかかる場合があるが、どのように判断すればいいのか。
バス事業課	8番線は、鹿児島中央駅で4番線に切り替わるため、そこで時間を調整しているところである。1番線や5番線、24番線は鹿児島中央駅での調整はない。